

平成 25 年度第 2 回奈良市子ども発達センター推進会議の概要

開催日時	平成 26 年 2 月 19 日（水）午前 10 時から正午まで
開催場所	奈良市役所 北棟 5 階 第 21 会議室
議 題	1 開会 2 報告 (1) 子ども発達センター療育相談室の事業報告 (2) 児童発達支援「いっぽ」の事業報告 3 討議 (1) 集団における個別の支援について (2) 支援者研修について
出席者	出席委員 7 人（欠席委員なし）・事務局 15 人
開催形態	公開（傍聴人なし）
担当課	子ども未来部 子育て相談課

議事の内容

- 1 開会
- 2 報告
 - 1) 奈良市子ども発達センター療育相談室の事業報告及び今年度取り組みについて
 - ①平成 25 年度 1 月末までの実績報告を行った。
 - ②今年度の取り組みから見えてきた課題
 - ・発達障害について関係機関との共通理解と切れ目のない支援をどのように行うか
 - ・支援者のスキルアップの重要性
 - 2) 児童発達支援「いっぽ」の事業報告及び今年度の取り組みについて
 - ①平成 25 年度の実績報告を行った。
 - ②今年度の取り組みから見えてきた課題
 - ・午後からの指導時間、対象年齢について再検討の必要性
 - ・家族支援の充実の検討
- 3 討議
 - 1) 集団における個別支援の充実について
 - ①教育委員会が作成している「個別の教育支援計画」と発達センターが作成していく「個別の支援計画」の違いについての共有、今後すり合わせの必要な部分があることについて確認。
 - ②個別の支援計画は、幼児期に保護者と子どもの特徴や必要な支援について考え「目標シート」を作成することに重点を置く。そのことで保護者の子どもに対する理解も深まり支援につながりやすくなる。
 - 2) 支援者への支援のありかたについて
 - ①保育園のコーディネーターについては、県内での取り組みがない。コーディネーターという位置づけは難しいかもしれないが、継続的に研修に参加してもらい、参加した人だけのスキルアップにとどまらず、園全体に伝えることまでを研修の一環とする必要がある。副園長先生や主任先生など園全体を見渡せる立場の人を発達支援の中心に据えることが大切。
 - ②研修の持ち方も大切。グループワークなどで自分たちで話し合っって考えるような場が必要。